

2025 年 8 月吉日

東京双松会 会員の皆様

東京双松会

会長 毛利 信二

東京双松会第 70 回総会のご案内

平素より東京双松会の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

東京双松会の第 70 回総会の詳細等が固まりましたので以下でご連絡させて頂きたく、引き続きご協力の程お願い申し上げます。

記

◆日 時 2025 年 11 月 15 日(土) 12:00~15:00(11:00 開場)

◆場 所 レストラン・アラスカ

東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンター10F ⇒別紙 1 ご参照

◆講演者 小泉凡 氏 小泉八雲記念館長 ⇒別紙 2-1 ご参照

◆エンタメ 門脇早紀さん(2024 年卒) 東京藝術大学音楽学部声楽科 2 年生

門脇勇樹さん(2019 年卒) 市中病院にて初期研修中

⇒別紙 2-2 ご参照

◆福引大会 島根県・松江市由来の商品を提供します(空くじなし)

◆参加費 30 才以上 10,000 円、30 才未満 5,000 円、学生無料(2025. 4. 1 現在)※当日受付

◆申込〆切 10 月 3 日(金)までに返信用ハガキにてご参加の有無をお知らせ下さい。

「アンケートシステム」からのご登録も可能です。⇒



以上

[別紙1] レストラン・アラスカのアクセス情報

会場：レストラン・アラスカ

**住所：東京都千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル 10F**
(巨大ドームが特徴)

電話：03-3503-2731

URL：<https://bb-building.net/tokyo/deta/184.html>

東京双松会第70回総会

日時 2025年11月15日(土)
12:00～15:00(11:00開場)

<日本プレスセンタービルの最寄り駅>

1.地下鉄 霞ヶ関 [C4] (3分)

2.地下鉄 内幸町 [A7] (3分)

3.地下鉄 日比谷 [A14] (7分)



**小泉八雲記念館館長
小泉凡 氏**



**講演：現代によみがえる小泉八雲とセツ
—「ばけばけ」を楽しく見るために—**

- ✓ 朝ドラ「ばけばけ」、アイルランドのアーティストの発案による「怪談アート展」など、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）と妻セツに社会的関心が集まっています。
- ✓ 松江で出会ったふたりには、極貧と結婚生活の破綻体験、物語好きという共通点が潜在します。13年8か月の夫婦生活で、ふたりが紡いだ怪談は100話近くに。
- ✓ 八雲の怪談文学は東洋と西洋、人と自然、生者と死者、現実世界と異界を結び、分断、対立の現代に「つながりの感覚」を与えてくれます。現代の視点から、八雲とセツの怪談文学の意義を探求します。

<プロフィール>

- 1961年東京生まれ。
- 成城大学大学院で民俗学を専攻後、松江へ赴任。
- 妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。
- 2022年度全国日本学士会アカデミア賞を受賞。
- 小泉八雲曾孫。主著に『怪談四代記—八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）ほか。
- 小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長、島根県立大学短期大学部名誉教授。

[別紙2-2]東京双松会第70回総会 ②エンタメの部

門脇早紀さん (ソプラノ)

(2024年卒75期)



- ◆ 2005年島根県松江市生まれ 5歳から松江プラバ少年少女合唱隊に入隊、12歳より声楽を始める
- ◆ 第2回国際声楽コンクール東京高校3年・卒業生部門第1位
- ◆ 第77回全日本学生音楽コンクールにて第1位
- ◆ 2024年第96回選抜高等学校野球大会開会式にて「君が代」独唱
- ◆ 渡邊志津子、菅英三子両氏に師事
- ◆ 現在東京藝術大学2年在学中

門脇勇樹さん (ピアノ)

2019年卒、70期



- ◆ 2000年島根県松江市生まれ。2004年よりピアノを始める。
- ◆ ピティナピアノコンペティション全国大会入選
- ◆ ショパン国際ピアノコンクールin ASIA大学生部門アジア大会金賞、あわせてIPMカトヴィツェ賞受賞
- ◆ 宝塚ベガ音楽コンクール第2位。他多数受賞
- ◆ 近年は関西を中心に室内楽の活動も精力的に行なっている
- ◆ 大阪大学医学部医学科卒業
- ◆ 現在市中病院にて初期研修中